

# 海老名市教育委員会

(令和4年 10月 定例会議事日程)

日時 令和4年10月28日(金)

午後3時30分

場所 えびなこどもセンター 201会議室

教育長報告

## 【審議事項】

日程第 1 議案第 29 号 第3期海老名市外国語教育実施計画の策定について



# 海老名市教育委員会

令和4年度 10月定例会



## ◇教育長報告

### 1 主な事業報告

|     |        |                                                               |
|-----|--------|---------------------------------------------------------------|
| 9月  | 22日(木) | 教育委員会9月定例会<br>櫛ロータリークラブ大ケヤキ草刈り                                |
|     | 25日(日) | 不登校支援団体進路情報交換会                                                |
|     | 26日(月) | 予算決算常任委員会文教社会分科会                                              |
|     | 28日(水) | 最高経営会議<br>市SDGs推進本部会議                                         |
|     | 29日(木) | 教育支援教室ふれあいキャンプ見送り<br>全国学力・学習状況調査考察資料説明会                       |
|     | 30日(金) | 市議会第3回定例会本会議(閉会)                                              |
| 10月 | 1日(土)  | 市中学校総合文化祭ステージ部門1日目                                            |
|     | 2日(日)  | 学童保育連絡協議会教育長と語る会<br>市中学校総合文化祭ステージ部門2日目                        |
|     | 3日(月)  | 武井教育委員辞令交付式<br>教育委員会辞令交付式<br>新潟県新発田市防災キャンプPR訪問<br>令和5年度予算編成会議 |
|     | 4日(火)  | 朝のあいさつ運動(門沢橋小学校)<br>10月校長会議<br>よりよい授業づくり特別版(柏ヶ谷中学校)           |
|     | 5日(水)  | 文化財保護審議会<br>青少年健全育成連絡協議会                                      |
|     | 7日(金)  | えびなっ子しあわせプラン推進委員会<br>県央教育事務所管内教育長会議                           |
|     | 8日(土)  | 小学校運動会(有鹿・有馬・中新田・門沢橋・社家)                                      |
|     | 12日(水) | 教育支援委員会                                                       |
|     | 13日(木) | 教育委員県外視察研修(水戸市)                                               |
|     | 14日(金) | 教育委員県外視察研修(つくば市)                                              |





- 15日(土) 小学校運動会(柏ヶ谷・上星・今泉・杉本)
- 17日(月) 不登校支援団体連絡協議会  
外国語教育推進協議会  
いじめ問題対策連絡協議会
- 18日(火) 学校応援団連絡会  
海西中学校合唱部訪問  
えびなの教育編集会議
- 19日(水) 中学校体育祭(海老名・今泉・有馬)  
姉妹都市児童絵画交流展
- 20日(木) 中学校体育祭(柏ヶ谷)  
海老名図書館を使った調べる学習コンクール審査会  
広報えびなタイトルロゴ選考会  
臨時教育委員会  
教育課題研究会
- 21日(金) 小学校特別支援学級合同宿泊研修実施検討会  
県都市教育長協議会臨時総会
- 22日(土) 食育ポスターコンクール表彰式
- 24日(月) 学校予算編成調整会議  
校長連絡会  
臨時校長会議  
授業改善推進委員会  
えびなっ子しあわせ懇談会
- 25日(火) 中学校体育祭(大谷)  
よりよい授業づくり学校訪問(海老名中学校)  
最高経営会議  
白石市中学生都市間交流表敬訪問
- 26日(水) 中学校体育祭(海西)  
白石市中中学校学校訪問(柏ヶ谷中学校)
- 27日(木) 市長定例記者会見  
ひびきあう教育「外国語教育推進校」研究授業
- 28日(金) 小学校連合運動会  
教育委員会10月定例会





## 2 子どもたちが求めるもの

学級担任をしている頃、ただただ、子どもたちといっしょに過ごす時間をたいせつにしていました。

休み時間は、ほとんどいっしょに遊んでいました。放課後も子どもたちが校庭に遊びに来て、いっしょにゲームをしたり、あれこれ話したりしていました。

今思えば、よく時間が取れたなあとは思いますが、子どもたちの「いっしょに遊ぼう。」「今日は、放課後、学校に来て大丈夫。」という声に、応えていました。

9月から、運動会・体育祭、中学校総合文化祭、研究授業などで、各学校に行き、さまざまな学校教育活動を見てきました。

子どもたちの活躍する姿に、心を動かされましたが、私は、自分もその立場にいたことから、つい、教員の姿に目が行くところです。

子どもたちと教員のかかわりの様子に目が行くところです。

私は、発達段階はありますが、たとえ中学生でも、子どもたちは、ともに多くの時間を過ごす、身近な大人である教員とのかかわりを求めていると、勝手に思い込んでいます。

だから、子どもたちと教員がともに学ぶ姿やともに喜ぶ姿を見ると、なんともうれしくなります。

学校現場で、教員に、子どもたちが求めているものは何でしょう？

子どもたちは、教員に、声をかけられたこと、励まされたこと、叱られたこと、褒められたことをよく覚えています。

子どもたちは、教員といっしょに夢中になって学習したことをよく覚えています。(遊んだことの方がよく覚えています)

えびなの教員は、総じて、よくやっていると思いますが、私としては、子どもたちと教員のかかわりが深まる・広がる、学校教育活動を、さらに、展開してほしいと願っています。

また、そのことを、あらためて認識して、教員は、子どもたちへの支援・指導にあたってほしいと望んでいます。

教育は、ある意味、大人から子どもへのよりよき価値の伝達です。教員には、先に生まれたものとして、自分の中にある、美しいもの、

正しいことを伝える役目があり、子どもたちはそれを求めていると、私は思っているのです。

以上です。

## 議案第29号

### 第3期海老名市外国語教育実施計画の策定について

別紙のとおり、第3期海老名市外国語教育実施計画の策定について、議決を求める。

令和4年10月28日提出

海老名市教育委員会  
教育長 伊藤 文 康

#### 提案理由

小中学校外国語教育の充実、強化を図り、小中学校の文化に根差した外国語教育を推進することを目的として、第3期海老名市外国語教育実施計画を策定したいため

### 第3期海老名市外国語教育実施計画の策定について

#### 1 趣旨

海老名市小中学校の外国語教育の充実、強化を図り、今後3年間の海老名市外国語教育を推進していくため、第3期海老名市外国語教育実施計画を策定したい。

#### 2 計画期間

令和5年度から令和7年度までの3年間

#### 3 計画の検討・協議

「海老名市外国語教育推進協議会」において、海老名市の外国語教育の現状や児童生徒および教員の意識調査等をもとに、これからの外国語教育の在り方を検討・協議してきた。

※検討・協議内容の詳細については別紙のとおり。

#### 4 資料

別冊「第3期海老名市外国語教育実施計画（案）」のとおり。

# 第3期 海老名市外国語教育実施計画策定に向けて

## 1 第2期 海老名市外国語教育実施計画の取組について

### (1) ALT 配置について

- 第2期実施計画策定時から、専科担当教員が増員された。専科がいる学校かそうでないかによって、ALT の活用の仕方が違う。
- 専科は ALT がいなくても成り立つかもしれないが、自信のない教員や専科は ALT に相談できて助かっている。
- この人数の ALT を維持してくれるとありがたい。特に、小学校1～4年生の授業には ALT は必要。
- 中学校では、今のペース（2週間ごとの ALT 配置）が良い。ALT がいる2週間に合わせて、授業の進度や活動を合わせている。
- 中学校は、学習指導要領の改訂を除いては、状況は変わらないが、小学校は専科担当教員の扱いやかつての担任主導からの方針変更など、変化が大きい。
- 小学校 Englishday の実施時期を中学校の行事に合わせたい。
- ALT と英語教師の役割は違う。一緒に行うことに意義がある。

### (2) 外国語教育の目標について

- 「英語でわがまちを語り…」が気になる。「外国語で自分のことを語り…」の方がふさわしい。英語はあくまでもツールの一つと考えたい。
- 異文化理解、多文化共生の考えが背景にあることを共有したい。

### (3) 具体的な手立てについて

- 中学校と小学校との連携を充実させたい。
- 児童生徒の学習成果を発揮する場を確保したい。例えば、外国の児童生徒との交流の場等。



↑ 第2期: 令和2～4年実施

## 2 第3期 海老名市外国語教育実施計画の概要

第3期の主な  
新規事業予定です



### ICT 機器を活用した教職員授業準備支援

授業実践動画や教材紹介のコンテンツを活用した教職員の授業準備支援を行う。

### 海外の学校とのオンライン交流

海外の学校とオンラインでつなぎ、現地の生徒と交流する場を設ける。

### 「スピーチコンテスト」への参加

児童が伝えたいことを英語で発表する場を設ける。

### 中学校外国語教員による研究 実践

中学校外国語教員による授業公開・協議会をととして、外国語教育の研究を進めていく。

### 神奈川大学と連携した小学校 外国語教育の充実に向けた中 核教員養成事業

小学校教員が中学校教諭二種免許状外国語（英語）を取得し、市内において指導的な役割を果たす人材の育成を図る。

(案)

## 第3期海老名市外国語教育実施計画



令和4年 10 月  
海老名市教育委員会



# 目次

## **1 海老名市外国語教育実施計画について**

|                    |   |
|--------------------|---|
| (1) 計画策定の目的 .....  | 1 |
| (2) 策定に向けた組織 ..... | 1 |
| (3) 計画の期間 .....    | 1 |

## **2 これまでの海老名市外国語教育について**

|                       |   |
|-----------------------|---|
| (1) 小学校外国語活動の取組 ..... | 2 |
| (2) 中学校外国語科の取組 .....  | 5 |

## **3 海老名市外国語教育の現状について**

|                       |    |
|-----------------------|----|
| (1) 小学校教員の現状 .....    | 7  |
| (2) 中学校英語科教員の現状 ..... | 10 |
| (3) 小学校児童の現状 .....    | 12 |
| (4) 中学校生徒の現状 .....    | 14 |
| (5) ALT 活用の現状 .....   | 16 |

## **4 これからの海老名市外国語教育について**

|                              |    |
|------------------------------|----|
| (1) グランドデザイン .....           | 19 |
| (2) 9年間で育てる子ども像・カリキュラム ..... | 20 |
| (3) 具体的な取組 .....             | 21 |

## (1) 計画策定の目的

海老名市では、本市の教育理念である「ひびきあう教育」のもと、海老名市の子どもたちが海老名で育ったことに自信と誇りを持ち、身近な人々はもちろん、世界の多種多様な人々とのコミュニケーションを楽しみ、お互いを尊重しながら、協働して社会に参画していく姿を目指している。そのために、小中学校外国語教育の充実、強化を図り、小中学校の文化に根差した外国語教育を推進するための計画として策定するものである。

## (2) 策定に向けた組織

今後の海老名市の外国語教育の在り方を検討・協議する「海老名市外国語教育推進協議会」を発足し、「第3期海老名市外国語教育実施計画」を策定する。

### 【構成メンバー】

|        |   |                                                          |
|--------|---|----------------------------------------------------------|
| 校長代表   | … | 大島 直子（海老名中学校）、麻生 仁（柏ヶ谷小学校）                               |
| 教頭代表   | … | 楠 祐子（上星小学校）                                              |
| 小学校代表  | … | 松本 唯斗（中新田小学校）、東 優也（東柏ヶ谷小学校）<br>目黒 宇大（大谷小学校）、中山 裕紀（杉本小学校） |
| 中学校代表  | … | 遠藤 晶子（今泉中学校）、戸田 夏恵（大谷中学校）                                |
| 外部委員   | … | 松山 愛（県央教育事務所指導主事）                                        |
| 市教育委員会 | … | 坂野 千幸（参事兼教育支援課長）、佐藤 英恵<br>風間 大輔（主担当）                     |

## (3) 計画の期間

令和5年度から令和7年度までの3年間

## 2

## これまでの海老名市外国語教育について

### (1) 小学校外国語活動の取組

#### ① 平成 19 年度

海老名市では、平成 14 年度より外国人英語指導講師 1 名を市内小中学校に配置した。社家小学校が平成 16 年度から 3 年間、神奈川県戦略プロジェクト「国際性豊かな人づくり」の中での取組みとして、「国際・外国語教育の推進」を図るため、研究委託を受け、ELT との T・T による外国語活動の研究を進めてきた。社家小学校では、年間 1 クラス 20～25 時間実施した。同時に、外国人英語指導講師 2 名を市内小中学校に配置し、小学校では、各クラス年間 2 時間程度の外国語活動を実施した。

さらに小学校外国語活動を推進するため、平成 19 年度は、外国人英語指導講師を 5 名に増員し、小学校 5・6 学年 各クラス年間 10 時間、1～4 学年は、各クラス年間 5 時間程度の外国語活動を実施した。【資料①参照】

#### 【資料①】平成 19 年度の状況

|           | 小学校 一般校                                           |          | 小学校 研究推進校 |          | 中学校     |
|-----------|---------------------------------------------------|----------|-----------|----------|---------|
|           | 1 ～ 4 学年                                          | 5 ・ 6 学年 | 1 ～ 4 学年  | 5 ・ 6 学年 | 1 ～ 3 年 |
| 年間授業時数    | 5 時間                                              | 10 時間    | 10 時間     | 20 時間    | 16 時間程度 |
| 派遣述べ日数    | 346 日                                             |          | 143 日     |          | 373 日   |
| 派遣 ELT 人数 | ELT 5 人内訳；小学校のみ派遣 1 人 / 中学校のみ派遣 1 人 / 小・中学校派遣 3 人 |          |           |          |         |

#### ② 平成 20 年度～平成 29 年度

平成 20 年以降の小学校英語活動の実施時間数・ELT の派遣日数は次のとおり。平成 29 年度より ALT (外国人指導助手) とし、委託契約から派遣契約に切り替えた【資料②】

#### 【資料②】平成 20 年度以降の小学校外国語活動年間時間数と ELT・ALT 派遣状況

≪平成 20 年度～平成 22 年度≫

|          | 小学校 一般校 |        | 小学校 研究推進校 |          | 派遣日数  | 派遣数 |
|----------|---------|--------|-----------|----------|-------|-----|
|          | 1～4 学年  | 5・6 学年 | 1～4 学年    | 5・6 学年   |       |     |
| 平成 20 年度 | 5 時間    | 20 時間  | 10 時間     | 20～35 時間 | 680 日 | 4 人 |
| 平成 21 年度 | 5 時間    | 20 時間  | 10 時間     | 35 時間    | 863 日 | 6 人 |
| 平成 22 年度 | 5 時間    | 35 時間  | 10 時間     | 35 時間    | 885 日 | 6 人 |

≪平成 23 年度～平成 29 年度≫ (小学校全校で同じ年間時間数)

|          | 1・2 学年  | 3・4 学年  | 5・6 学年 | 派遣日数   | 派遣数 |
|----------|---------|---------|--------|--------|-----|
| 平成 23 年度 | 10 時間前後 | 10 時間前後 | 35 時間  | 1086 日 | 6 人 |
| 平成 24 年度 |         |         |        | 1104 日 | 6 人 |
| 平成 25 年度 |         |         |        | 1104 日 | 6 人 |
| 平成 26 年度 |         |         |        | 1122 日 | 6 人 |
| 平成 27 年度 |         |         |        | 1080 日 | 6 人 |
| 平成 28 年度 |         |         |        | 1111 日 | 6 人 |
| 平成 29 年度 |         |         |        | 1093 日 | 6 人 |

### ③ 平成 30 年度～平成 31 年度(令和元年度)

平成 30 年度は、新学習指導要領の移行期間措置として実施。平成 31 年度（令和元年度）は、新学習指導要領を先行的に実施。

#### 【資料③】平成 30 年度～令和元年度 小学校外国語活動年間時間数と ALT 派遣状況

|                     | 1・2 学年 | 3・4 学年 | 5・6 学年 | 派遣日数                        | 派遣数  |
|---------------------|--------|--------|--------|-----------------------------|------|
| 平成 30 年度            | 10 時間  | 15 時間  | 50 時間  | 1298 日<br>1 人当たり<br>185 日前後 | 7 人  |
| 平成 31 年度<br>(令和元年度) | 10 時間  | 35 時間  | 70 時間  | 1827 日<br>1 人当たり<br>183 日前後 | 10 人 |

### ④ 令和2年度～令和4年度

令和 2 年度から全面実施となった新学習指導要領の内容に沿った形で実施。

#### 【資料④】令和 2～4 年度 小学校外国語活動外国語年間時間数と ALT 派遣状況

|                         | 1・2 学年 | 3・4 学年 | 5・6 学年 | 派遣日数                        | 派遣数  |
|-------------------------|--------|--------|--------|-----------------------------|------|
| 令和 2 年度<br>～<br>令和 4 年度 | 10 時間  | 35 時間  | 70 時間  | 1876 日<br>1 人当たり<br>187 日前後 | 10 人 |

### ⑤ 平成 27 年度以降の小学校における主な取組内容

小学校での外国語教育は、中学校英語の前倒しではなく、「コミュニケーション能力の育成」を、言語活動をとおして育成することをねらいとしている。海老名市では、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、ALT を配置して、外国語・外国語活動の授業を行い、自分と違う文化をもつ外国人と触れ合い、自分の考えや思いを伝えようしたり、相手のことを理解しようとする態度の育成を重視してきた。

平成 28 年度に第 1 期海老名市外国語教育実施計画を策定し、令和元年度に第 2 期海老名市外国語教育実施計画を策定した。本市の児童生徒が、わがまち海老名で育ったことに自信と誇りを持ち、身近な人々はもちろん、世界の多種多様な人々とのコミュニケーションを楽しみ、お互いを尊重しながら、協働して社会に参画していく姿を目指して、外国語教育のあり方を研究及び推進してきた。

具体的には、学級担任主導による効果的な指導の工夫、ALT を有効活用した TT 授業の実践などを研究し、教員研修会等で具体的な指導方法との共通理解を図りながら推進してきた。

【平成 27 年度】

- 外国語教育推進リーダー教員養成中央研修へ派遣（杉本小学校 丹内清香 教諭）

【平成 28 年度】

- 海老名市外国語教育実施計画策定（平成 29 年 3 月）
- 児童生徒アンケート、小中学校教職員アンケートを実施
- 外国語教育推進業務委託プロポーザル（インテック委託期間平成 29～31 年度の 3 年間）
- English Day の試行（社家小学校、今泉小学校）

【平成 29 年度】

- 新学習指導要領の告示（平成 29 年 7 月）
- 海老名市外国語教育推進指定校を設置（今泉小学校、上星小学校）※平成 29～30 年度
- 今泉小学校校内研究授業及び研究協議会を全小中学校へ公開（通年）
- English Day を全小学校で実施
- 小学校教員研修会を全小学校で実施

【平成 30 年度】

- 新教材を配付（Let's Try！①②、We Can！①②）
- 小中学校合同の外国語教育教員研修会を実施（7 月）
- 今泉小学校・上星小学校校内研究授業及び研究協議会を全小中学校へ公開（通年）
- 海老名市オリジナル単元「Welcome to Ebina」の単元計画及び指導案を作成

【平成 31 年度（令和元年度）】

- 新学習指導要領全面実施に先立ち、小学校 3・4 年生で 35 時間、5・6 年生で 70 時間の外国語活動の授業を実施（通年）
- 児童生徒アンケート、小中学校教職員アンケートを実施
- 第 2 期 海老名市外国語教育実施計画策定（令和元年 10 月）
- 外国語教育推進業務委託プロポーザル（インテック委託期間令和 2～4 年度の 3 年間）
- 英語専科担当教員を 2 名配置（市内 3 小学校）

【令和 2 年度】

- 新学習指導要領全面実施（小学校 3・4 年生で外国語活動、小学校 5・6 年生で外国語科の授業が始まる）
- 英語専科担当教員を 4 名配置（市内 7 小学校）
- 小学校外国語教育研修会を動画視聴で実施（7～9 月）

【令和 3 年度】

- 外国語・外国語活動指導法講座（外部講師による小学校外国語科の示範授業及び講義）を実施（9 月）

## (2) 中学校外国語科の取組

### ① ELT・ALT の派遣状況

海老名市では、平成 14 年度より外国人英語指導講師 1 名を市内中学校に配置した。平成 16 年度は各クラス 8 時間程度、平成 18 年度は、各クラス年間 10 時間、19 年は 12 時間、平成 20 年度以降は、ELT 3 名が市内 6 校に行き年間約 20 時間、平成 24 年度以降は年間 25 時間の授業を実施した。【資料③】

#### 【資料⑤】平成 20 年度以降の中学校英語科年間時数と ELT・ALT の派遣状況

|          | 中学校外国語科年間時数<br>(ELT・ALT との TT による年間授業時数) |      |      | 派遣日数 | 派遣数   |
|----------|------------------------------------------|------|------|------|-------|
|          | 1 年生                                     | 2 年生 | 3 年生 |      |       |
| 平成 20 年度 | 105 時間 ※週 3 時間<br>(20 時間)                |      |      | 509  | 3 人   |
| 平成 21 年度 |                                          |      |      | 516  | 3 人   |
| 平成 22 年度 |                                          |      |      | 531  | 3 人   |
| 平成 23 年度 |                                          |      |      | 543  | 3 人   |
| 平成 24 年度 |                                          |      |      | 552  | 3 人   |
| 平成 25 年度 | 140 時間 ※週 4 時間<br>(25 時間)                |      |      | 552  | 3 人   |
| 平成 26 年度 |                                          |      |      | 561  | 3 人   |
| 平成 27 年度 |                                          |      |      | 540  | 3 人   |
| 平成 28 年度 |                                          |      |      | 540  | 3 人   |
| 平成 29 年度 |                                          |      |      | 549  | 3 人   |
| 平成 30 年度 |                                          |      |      | 390  | ※ 2 人 |
| 平成 31 年度 |                                          |      |      | 549  | 3 人   |
| 令和 2 年度  |                                          |      |      | 558  | 3 人   |
| 令和 3 年度  |                                          |      |      | 575  | 3 人   |

※平成 24 年度からは、学習指導要領の改訂により、年間時数が増え、学習内容も増加。

(参考：単語数が 900 語→1200 語)

※平成 30 年度のみ、小学校学習指導要領移行期のため、小学校に 7 名、中学校に 2 名派遣。

### ② 平成 28 年度以降の中学校における主な取組内容

#### 【平成 28 年度】

- 海老名市外国語教育実施計画策定（平成 29 年 3 月）
- 児童生徒アンケート、小中学校教職員アンケートを実施
- 外国語教育推進業務委託プロポーザル（インタラク委託期間平成 29～31 年度の 3 年間）
- 海老名市版「Can-Do リスト」の作成

【平成 29 年度】

- 新学習指導要領の告示（平成 29 年 7 月）
- 海老名市外国語教育推進指定校を設置（今泉中学校）※平成 29～30 年度
- 今泉小学校校内研究授業及び研究協議会への中学校英語科教員の参加
- 海老名市版「Can-Do リスト」の改訂
- 外国語教育推進リーダー教員養成中央研修へ派遣（海老名中学校 鈴井千草 教諭）

【平成 30 年度】

- 大谷中学校にて「English Workshop」を実施（4 月）
- 小中学校合同の外国語教育教員研修会を実施（7 月）
- 今泉小学校・上星小学校校内研究授業及び研究協議会への中学校英語科教員の参加
- 今泉中学校研究授業及び研究協議会を市内全小中学校へ公開（11 月）

【平成 31 年度（令和元年度）】

- 全国学力・学習状況調査の英語科を実施（4 月）
- 第 2 期 海老名市外国語教育実施計画策定（令和元年 10 月）
- 外国語教育推進業務委託プロポーザル（インテック委託期間令和 2～4 年度の 3 年間）
- 英語専科担当教員による小学校における公開授業への中学校英語科教員の参加

【令和 2 年度】

- 英語専科担当教員による小学校における公開授業への中学校英語科教員の参加

【令和 3 年度】

- 外国語・外国語活動指導法講座（外部講師による小学校外国語科の示範授業及び講義）への中学校英語科教員の参加

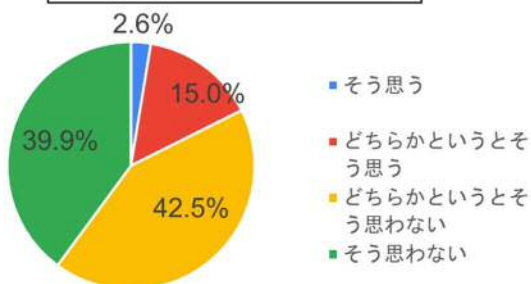
### 3 海老名市外国語教育の現状について

#### (1) 小学校教員の現状

海老名市教育委員会では、令和4年6月に、市内小学校教員を対象に「外国語教育アンケート」を実施した。

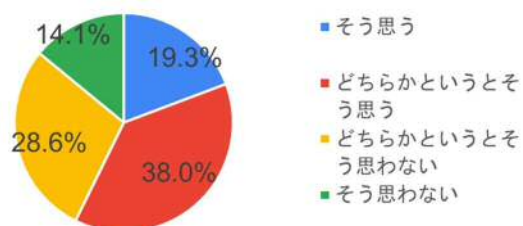
##### 結果①

外国語を話すことが得意である。



##### 結果②

外国語活動・外国語を指導することに抵抗感がある。



##### 結果③

外国語活動・外国語の指導に難しさを感じている。



##### 考察① 【結果①～③より】

小学校の先生方は、

○外国語を話すことが苦手。

○外国語活動・外国語を指導することに抵抗がある。(「そう思う+どちらかといえばそう思う」が 57.3%)

○外国語活動・外国語の指導に難しさを感じている。(「そう思う+どちらかといえばそう思う」が 84.2%)

##### 結果④

小学校の教員に必要と感じる外国語教育関係の研修についてあてはまるものをすべて選んでください。



##### 考察② 【結果④より】

小学校の先生方は、

○授業計画や教材を作成する研修(53.7%)

○評価方法について共通理解を図ったり、協議したりする研修(50.5%)

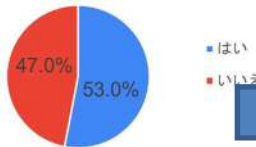
○学級担任等とALTの連携による授業参観・協議(48.9%)

…といった研修の必要性を感じている。

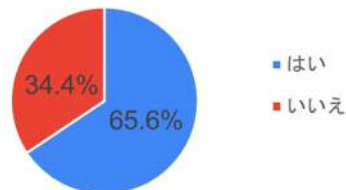


## 結果⑤

【R1】 これまでに他校、他学級の外国語活動・外国語の授業を参観したことがありますか。



【R4】 これまでに他校、他学級の外国語活動・外国語の授業を参観したことがありますか。

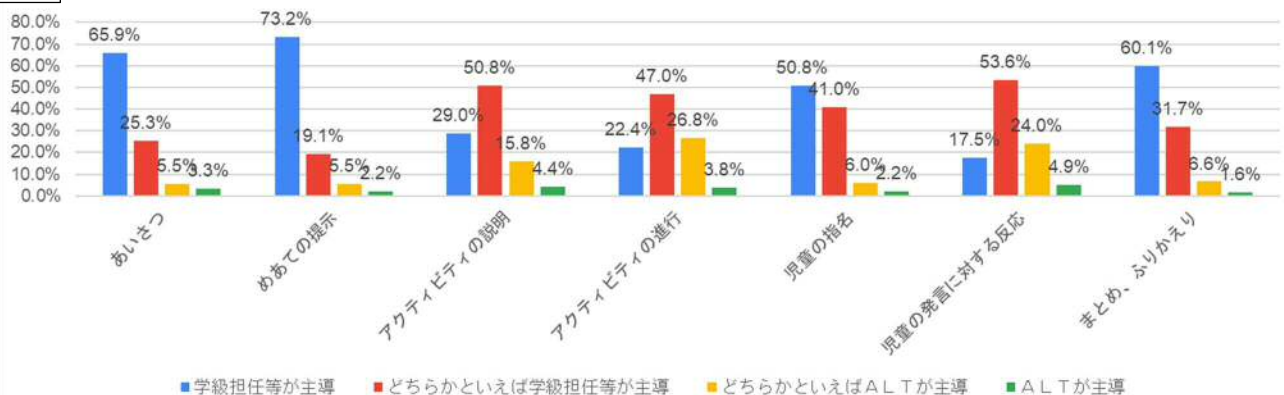


## 考察③ 【結果⑤より】

小学校の先生方は、外国語活動・外国語の授業についての研修に進んで取り組むようになってきている。  
(前回比+12.6%)

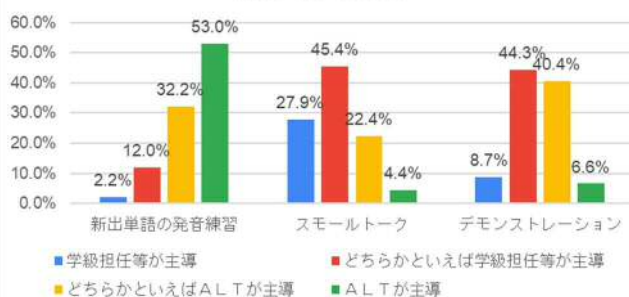
## 結果⑥

学級担任等とALTのどちらが主導で授業を行っていますか。



## 結果⑦

学級担任等とALTのどちらが主導で授業を行っていますか



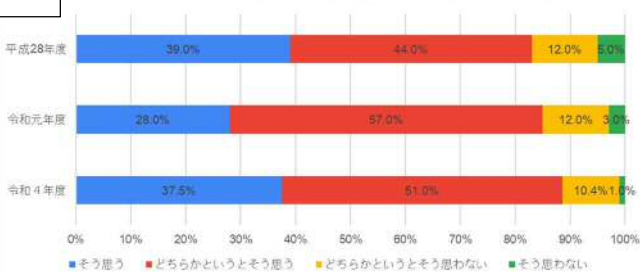
## 考察④ 【結果⑥・⑦より】

小学校の先生方は、授業において・・・

- あいさつ、めあての提示、活動の説明・進行、まとめ・振り返り等、授業の核となる部分は学級担任等が主導で行っている。
- 発音練習、スモールトーク、デモンストレーション(活動の手本)等、英語を聞かせる場面でALTを活用している。

## 結果⑧

児童と一緒に外国語活動・外国語を楽しんで行っている。



## 考察⑤ 【結果⑧より】

小学校の先生方は、授業において・・・

- 児童と一緒に、外国語活動・外国語の授業に楽しんで取り組んでいる。
- また、年々その割合が高くなっている。

今後の小学校外国語教育の実施にあたっての課題は何だと思いますか？（自由記述）

|                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                         |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>○教職員の指導技術について(36人)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語を話すことに抵抗がない教師の育成</li> <li>・教師側の英語力に課題があると感じる。どうしたら自信をもって授業に取り組めるか考えたい。</li> <li>・教員のスキルの格差</li> <li>・担任が外国語を話すことに苦手意識を持っていること</li> <li>・指導水準の確保</li> <li>・担任単独授業は負担が大きい。</li> </ul> <p>…等</p>                | <p><b>○専科教員の確保・配置について(15人)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科担任にしてほしい。</li> <li>・外国語教育の専科教員の確保</li> <li>・専科教員による指導と評価</li> <li>・英語専科を各学校 1 名ずつ配置できるようにすること。</li> <li>・専科の先生の配置</li> <li>・専科教諭の配置</li> <li>・英語専科の増員</li> </ul> <p>…等</p> |
| <p><b>○ALT との連携について(14人)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ALT との授業研究と学習前の打ち合わせ</li> <li>・ALT との連携</li> <li>・もっと外国語に直接触れる機会が必要。</li> <li>・正しい発音での英語を聞く機会が少ない。</li> <li>・授業時間以外の時間に活用する機会</li> <li>・現在のように A L T と担任と専科が協力して取り組めば指導力も指導内容も向上していくと思います。</li> </ul> <p>…等</p> | <p><b>○評価について(11人)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語における学習評価</li> <li>・パフォーマンステストや前で話すことへの抵抗感をどう下げていくか。</li> <li>・児童の抵抗感をなくす。評価のとり方。</li> <li>・ただジェスチャーをつけているだけで評価を上げていいのか。</li> <li>・成績(パフォーマンステスト)の評価の仕方</li> </ul> <p>…等</p>       |
| <p><b>○中学校との連携について(7人)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校との連携</li> <li>・中学校に向けた学習活動、svc の理解</li> <li>・中学以降の外国語教育の改革</li> <li>・読み書きへの必然性をどのように生むのか。</li> <li>・スペルの書き取り、文法</li> </ul> <p>…等</p>                                                                           | <p><b>○その他(30人)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語教育の扱いの格差が個人や学校、自治体において存在していると感じる。</li> <li>・英語だけでなく、コミュニケーション能力を高めること</li> <li>・児童の英語に対する興味関心について</li> <li>・子どもが熱中できる教材(アクティビティ)の充実</li> </ul> <p>…等</p>                             |

**まとめ**

小学校教員アンケートからみえてきたこと

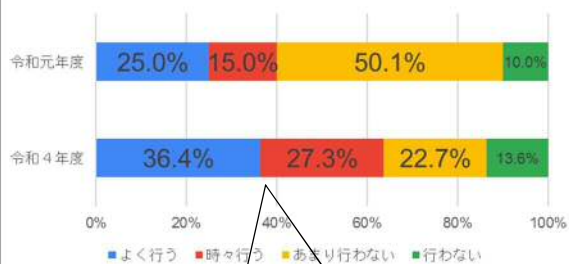
- 外国語を話すことが苦手意識のある教員が多く、その指導に難しさや抵抗感を感じている教員が多い。
- そんな状況でも、指導技術を向上させるため、必要な研修を受講しようとする教員が増えている。
- 学級担任等の指導者と ALT の役割の違いについて理解した上で、授業を展開することができるようになってきている。
- 授業内での ALT の望ましい活用場面や活用方法について、教員の理解が進んできている。
- 児童と一緒に楽しんで指導にあたっている。
- 教職員の指導技術や専科教員の活用法を含めた指導体制の構築、さらなる ALT との連携について、今後も研究していく必要がある。

## (2) 中学校英語科教員の現状

海老名市教育委員会では、令和4年6月に、中学校英語科教員を対象に「外国語教育アンケート」を実施した。

### 結果①

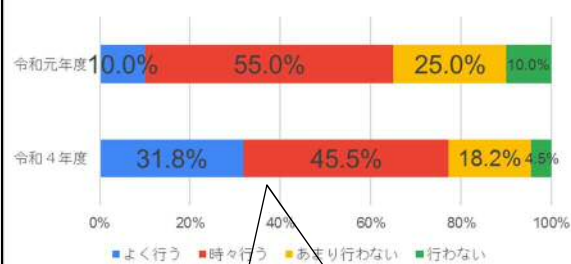
テーマを決め、ペアやグループによる即興の  
small talk



「よく行う」+「時々行う」の割合が  
前回と比べて+23.7%

### 結果②

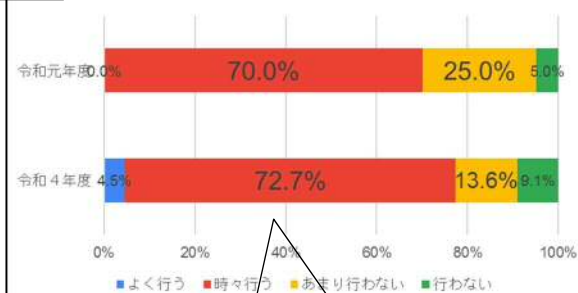
即興で自分のことや気持ちや考えを英語で話  
す活動



「よく行う」+「時々行う」の割合が  
前回と比べて+12.3%

### 結果③

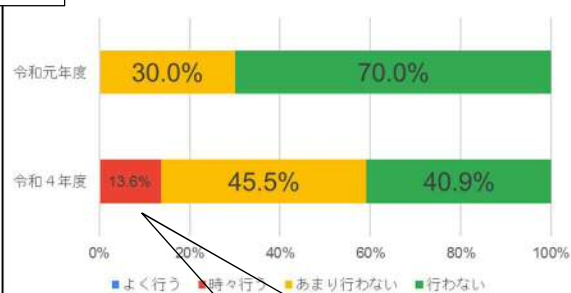
スピーチ・プレゼンテーション



「よく行う」+「時々行う」の割合が  
前回と比べて+7.2%

### 結果④

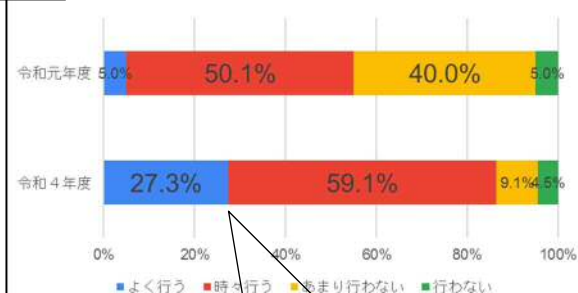
ディベート・ディスカッション



「よく行う」+「時々行う」の割合が  
前回と比べて+13.6%

### 結果⑤

自分のことや気持ちや考えを英語で書く活動



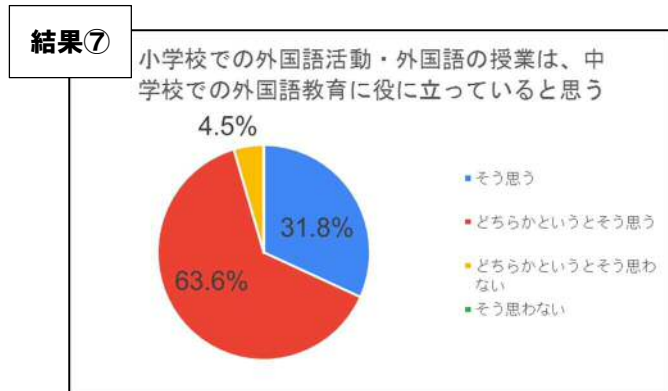
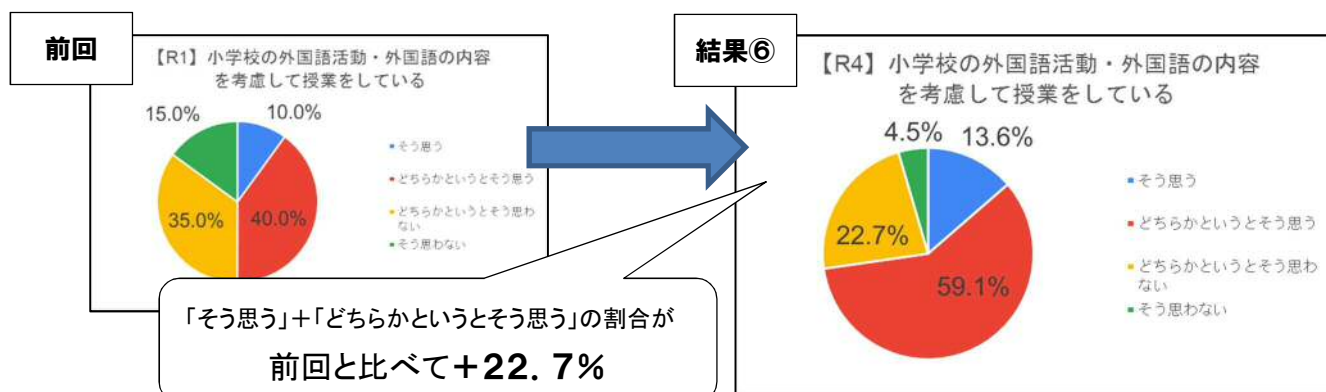
「よく行う」+「時々行う」の割合が  
前回と比べて+31.4%

### 考察① 【結果①～⑤より】

中学校英語の授業内容は

- スモールトーク
- 気持ちや考えを英語で話す活動
- スピーチ・プレゼンテーション
- ディベート・ディスカッション
- 気持ちや考えを英語で書く活動

といった学習活動の時間が増加しており、コミュニケーション力の向上に直結するような活動が充実してきている。



**考察②** 【結果⑥⑦より】

○小学校の外国語活動・外国語の内容を考慮している中学校の英語科教員が前回と比べて大きく増加している。

○さらに、ほとんどの教員が小学校での外国語教育が中学校の外国語教育が役立っていると回答している。

○令和3年度 外国語教育実施状況調査の結果より

生徒の英語力の状況（中学校）

|      |      | 英検能力に関する外部試験を受験したことがある生徒 | CEFR A1レベル相当以上を取得している生徒 | CEFR A1レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒 | CEFR A1レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒 |
|------|------|--------------------------|-------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 前回   | 全国   | 44.8%                    | 25.1%                   | 18.9%                         | 44.0%                         |
| (R1) | 神奈川県 | 27.9%                    | 19.2%                   | 18.4%                         | 37.6%                         |
| 今回   | 神奈川県 | 30.3%                    | 20.6%                   | 19.6%                         | 40.2%                         |
|      | 海老名市 | 27.7%                    | 20.2%                   | 33.0%                         | 53.2%                         |

CEFR A1レベル(英検3級)相当の英語力を有すると思われる生徒は、神奈川県より13ポイントも高い結果。(全国47%と比べても+6ポイント)

**まとめ** 中学校教員アンケートからみえてきたこと

○中学校英語科教員は、生徒のコミュニケーション力の向上に直結するような学習活動を進んで取り入れるようになってきている。

○中学校英語科教員は、小学校で学んできた外国語教育を考慮し、指導にあたっている。

○令和3年度の外国語教育実施状況調査では、CEFR A1レベル(英検3級)相当の英語力を有すると思われる生徒が、全国や神奈川県の結果と比べて多い。

○生徒のコミュニケーション力の向上に直結するような学習活動に加え、「教科書本文を聞き取り、内容を理解する活動(「よく行う」+「時々行う」の割合が86.4%)」や「文法事項のパターンプラクティス(「よく行う」+「時々行う」の割合が81.8%)」等の知識・技能についての学習内容についてもしっかりと支援しており、生徒の学力の向上につながっていると考えられる。



### (3) 小学校児童の現状

海老名市教育委員会では令和4年6月、全小学校3～6年生各学年1クラスずつ抽出した1348名を対象に「小学校外国語教育アンケート」を実施した。

結果①

外国語の学習は大切だと思いますか。



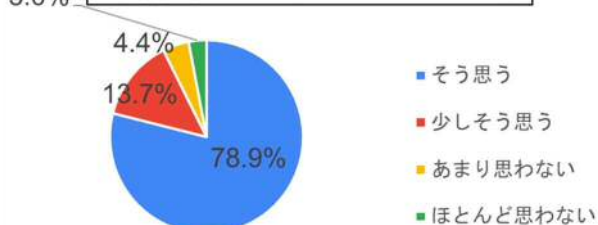
結果②

英語を使えることは大切だと思いますか。



結果③

外国語が使えるようになりたいですか。



#### 考察① 【結果①～③より】

○外国語の学習や英語を使えることは大切だと考えている児童や外国語が使えるようになりたいと考えている児童が多い。外国語教育への意欲が高いことがわかる。

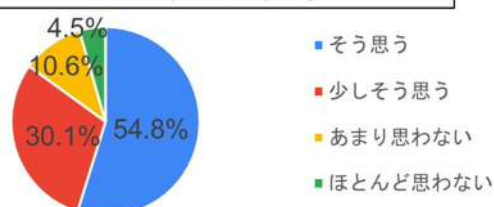
結果④

外国語の時間に、英語を「聞くこと」は楽しいですか。



結果⑤

外国語の時間に、友だちや先生と英語で話すことは楽しいですか。



#### 考察② 【結果④～⑥より】

○英語を聞くことや話すことに、楽しんで取り組むことで、コミュニケーションの楽しさを感じている児童が多いことがわかる。

○自らのコミュニケーション力の向上を感じられている児童が多い。外国語活動・外国語の授業において、ALT や教師、友達とのかかわりを通して、学習したコミュニケーション力を発揮する場面において、認識できているものと考えられる。

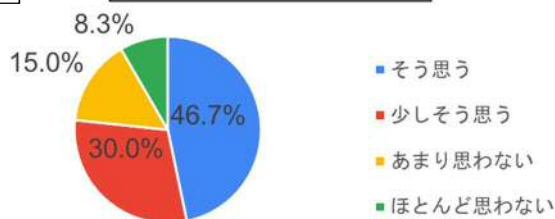
結果⑥

外国語の学習をととして、英語で話したり聞いたりすることが上達したと思いますか。

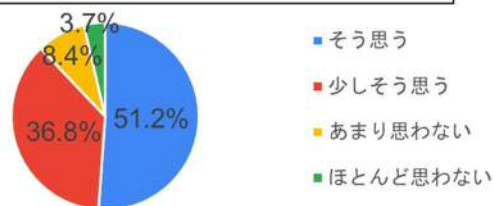


**結果⑦**

外国の人と話したいですか。

**結果⑧**

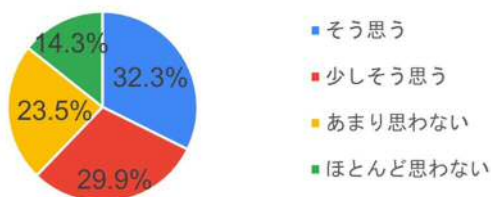
外国語の学習をとおして、たくさんの言葉や外国の文化を知ることができましたか。

**考察③ 【結果⑦⑧より】**

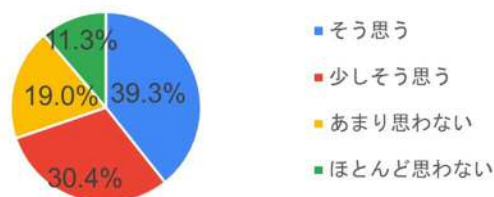
外国の人と話したい児童や、外国語を通して文化を知ることができている児童が多い。ALT と接し、外国の文化に触れることから、多文化共生の実現につなげていこうとする姿が見られる。

**結果⑨**

外国の人たちといっしょに仕事をしてみたいですか。

**結果⑩**

外国語で日本の文化や海老名についてしょうかいしてみたいですか。

**考察④ 【結果⑨⑩より】**

「考察①～③」で、小学校児童は外国語教育に進んで取り組んでいることがわかったが、外国の人と一緒に仕事をしたい児童や自国の文化や海老名のことを紹介してみたいという児童はやや少ない。学んだコミュニケーション力を生かす場を具体的に思い描くことが難しいのではないかと予想される。

**まとめ****小学校児童アンケートからみえてきたこと**

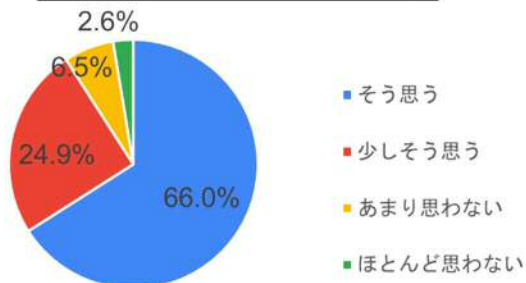
- 外国語の学習や英語を使えることは大切だと考えている児童や外国語が使えるようになりたい児童が多く、外国語教育への意欲が高い。
- 英語を「聞くこと」や「話すこと」、「コミュニケーションの楽しさ」を感じている児童が多く、ALT や教師、友達とのかかわりを通して、外国語活動・外国語の授業に楽しんで取り組んでいることがわかる。
- 将来、学んだコミュニケーション力を生かす場を具体的に思い描くことが難しい児童がいることから、EnglishDay のような学んだコミュニケーション力を発揮する場面を充実させていく等、工夫が求められる。

## (4) 中学校生徒の現状

海老名市教育委員会では、令和4年6月、全中学校各学年1クラスずつ抽出した731名を対象に「中学校外国語教育関アンケート」を実施した。

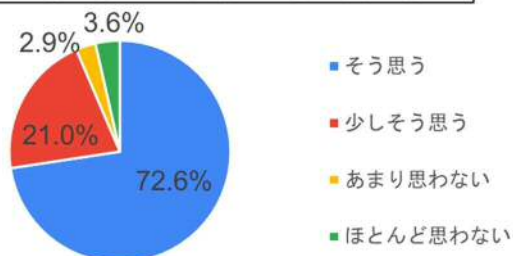
結果①

英語の学習は大切だと思いますか。



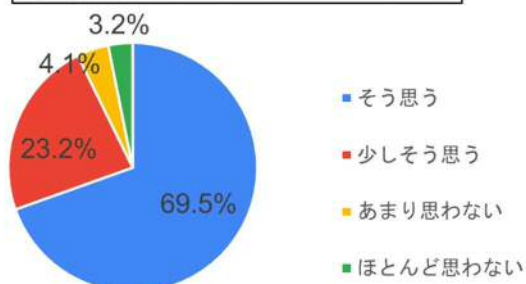
結果②

国際社会の中で、外国語でコミュニケーションをとることは大切だと思いますか。



結果③

外国語が使えるようになりたいですか。

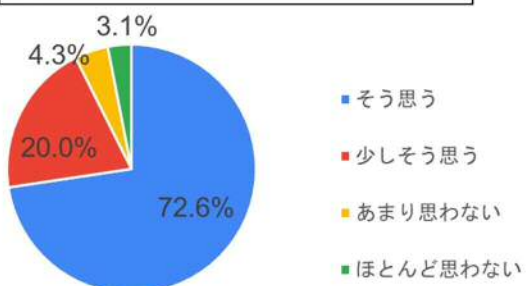


### 考察① 【結果①～③より】

英語の学習やコミュニケーションをとることは大切だと考えている生徒や外国語が使えるようになりたいと考えている生徒が多い。外国語教育への意欲が高いことがわかる。

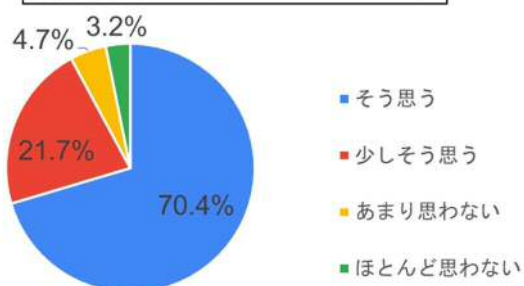
結果④

英語を聞きとれるようになりたいですか。



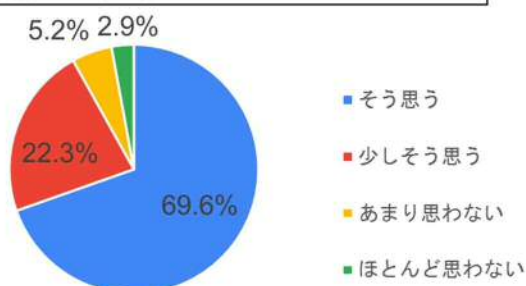
結果⑤

英語を話せるようになりたいですか。



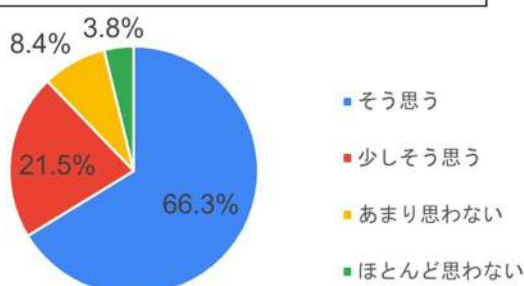
結果⑥

英語の文章を読めるようになりたいですか。



結果⑦

英語で文章を書けるようになりたいですか。

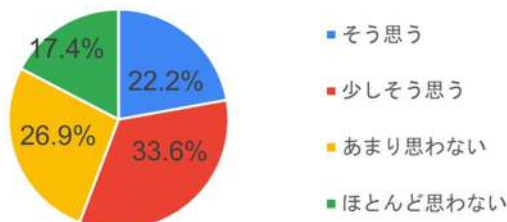


## 考察② 【結果④～⑦より】

結果④～⑦の各設問では、肯定的(「そう思う」+「どちらかというと思う」)な回答の割合が 90%前後である。英語の「話す・聞く」「読む」「書く」の各領域について、より技能を向上させたいという気持ち強いことがわかる。

### 結果⑧

外国の人たちと一緒に仕事をしてみたいですか。



### 結果⑨

海外で勉強をしてみたいですか。



### 結果⑩

外国語で日本の文化や海老名についてなどを紹介してみたいですか。



## 考察③ 【結果⑧～⑩より】

外国語教育の成果を発揮する場として、将来の仕事、海外での勉強、文化交流等に向けた意欲に十分結びついていない。生徒にとっては、当面の目標が進学のため、まだその先にある目標について描きにくいのではないかと。

### 結果⑪

小学校での授業で学んだことを中学校の英語の授業で活かすことができますか。



## 考察④ 【結果⑧～⑪より】

中学校教員が小学校での外国語教育が中学校の外国語教育が役立っていると回答(肯定的な回答が 95.4%)している一方で、生徒の肯定的な数字は伸び悩んでいる。児童生徒の視点に立った小中連携の充実を図る必要がある。

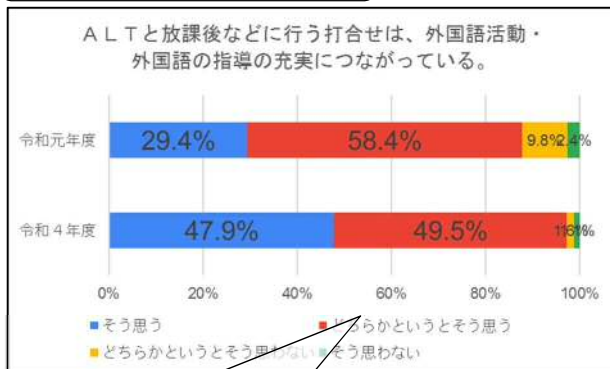
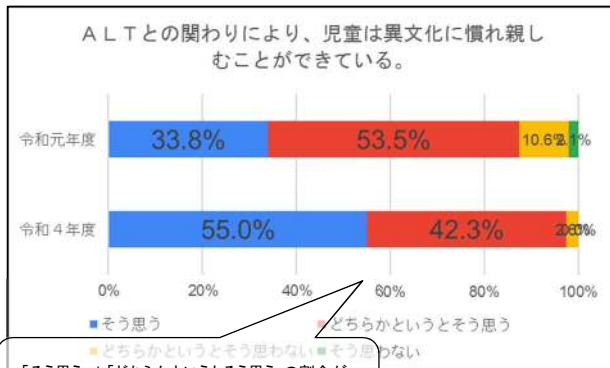
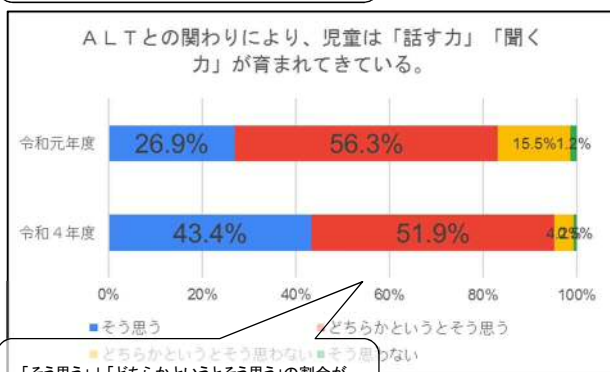
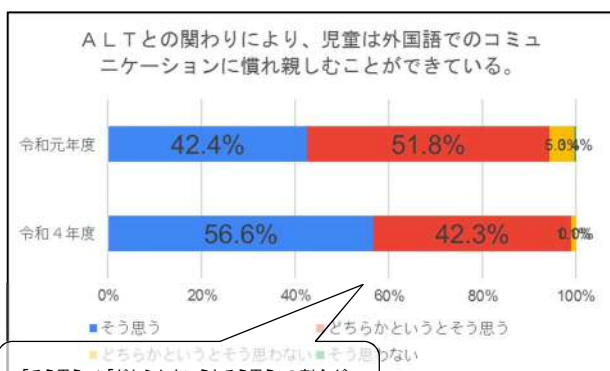
## まとめ 中学校生徒アンケートからみてきたこと

- 中学生生徒は、外国語教育への意欲が高い。また、「話す・聞く」「読む」「書く」の各領域について、より技能を向上させたいという気持ち強い。
- しかし、将来の仕事、海外での勉強、文化交流等、身に付けた英語力を具体的な場面で生かそうとする意欲に十分結びついていない。また、小学校からの学びのつながりを十分感じることができていない。
- 外国語によるコミュニケーション力の必要性を呼びかけたり、小学校や中学校の学びのつながりを意識した取組を充実させたりすることの重要性を感じる。

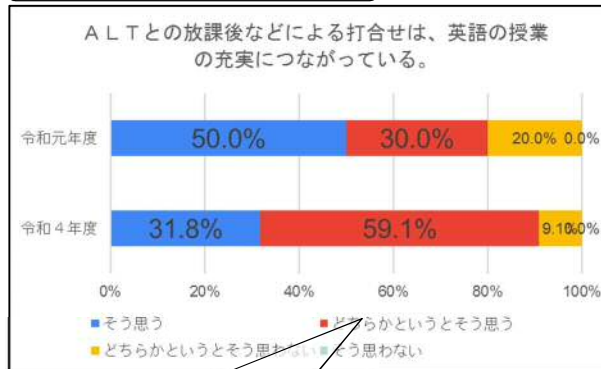
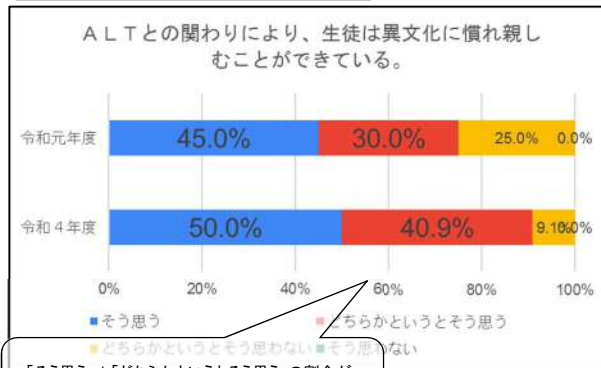
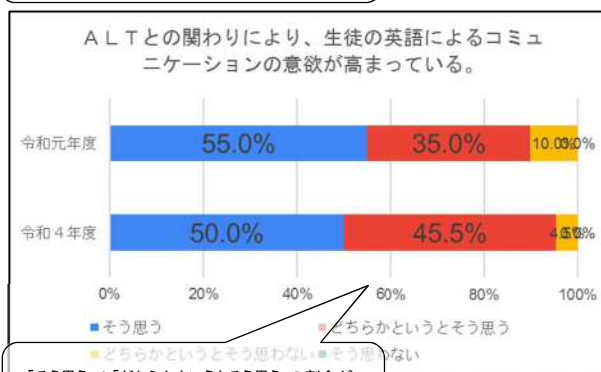
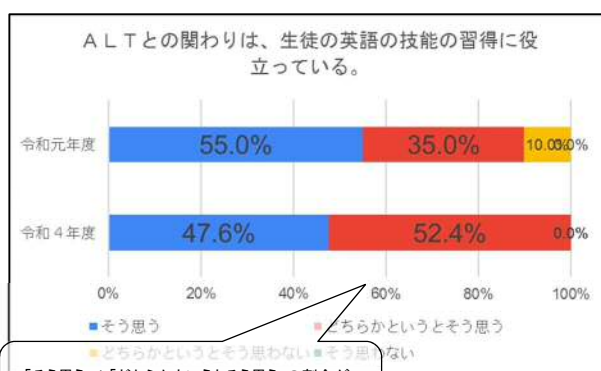


## (5) A L T 活用の現状

### 【小学校教員対象アンケートより】



### 【中学校英語科教員対象アンケートより】



## ALTとの連携によってどのような効果が見られますか？（自由記述）

### ○ネイティブの英語に触れる機会(26人)

- ・ネイティブな外国語に直接触れることができる。(11人)
- ・正しい発音が分かる。(5人)
- ・同じ教育活動でも、ネイティブが発音することで、生徒たちにもより環境を整えてあげられると考えています。発音できなければ聞き取れない。聞き取れなければ発音できない。ということをより実感させられると感じています。
- ・英語話者の感覚を生徒に伝えることができたり、日常で使うような語彙の紹介などができる。
- ・生きた英語を、自分の実体験として感じられること。
- ・表現力。
- ・ネイティブに英語を学習すること。
- ・発音の詳細などが伝わりやすい。
- ・英語の自然な発音を聴き、慣れることができる。
- ・リスニングが自然と身につく。
- ・正しい発音で聞く英語の新鮮さは効果が感じられる。
- ・ALT が外国語のみで学級担任が日本語を交えて指導することで、ネイティブの新鮮さと、外国語が不安な児童の対応がバランスよくできると感じる。

### ○授業内容の充実(21人)

- ・授業内のめあてに沿ってスムーズに進めることができる。(9人)
- ・授業の共通理解。(3人)
- ・外国語の雰囲気、環境づくりに効果がある。(2人)
- ・授業の内容的質が向上しています。様々な価値観から授業を作っています。
- ・日本人教師では手の届かないところを学ぶことができると感じている。
- ・子どもののせかたをよくわかっている。オールイングリッシュならではの進め方の参考になる。
- ・生徒との関わり方や考え方、教材研究の技術などとても勉強になることばかりです。授業の作り方もいつも積極的に意見を出し合いながら作れるので、私自身もとても勉強になります。
- ・アクティビティーの手本を示しやすい。児童への個別フォローが手厚くできる。
- ・単純に教師の目が増えるのが助かる。
- ・児童の実態に合わせた指導計画をたてることができている。
- ・次の授業で大事にしたいことが分かります。

### ○教職員の指導力・英語力向上(18人)

- ・授業の進め方のいろいろなアイデアを知ることができた。(6人)
- ・学級担任の英語力向上。(4人)
- ・自分自身の英語学習への啓発。
- ・教員も一緒に学ぼうとする姿勢が培われる。
- ・授業中の担任との連携。協力して目標に向かえる。
- ・担任が答えられない解答等のフォロー。
- ・正しい発音を知れる。担任が日本語を交えて補足することで、安心して本物の英語に触れることができる。
- ・放課後の打ち合わせや談笑などから、授業で行うスモールトークの内容が充実し、より楽しくリアルな会話に近づく効果があると思います。
- ・一人があれもこれもでは限界がきてしまうと思われます。ALT との連携は子どもたちにとって大きな存在です。ただクラスに入っただけのだけでもネイティブに対する相手意識が生まれ、そこに必然性が生まれる効果はかけがえのないものだと感じます。

## ○児童生徒の意欲の向上について(15人)

- ・英語話者に対する壁が低くなる効果が見られる。
- ・自分の英語力をさらに磨こうとする動機づけに繋がっている。
- ・1on1 の speaking test など 楽しそうに取り組むようになってきている。
- ・英語でないとコミュニケーションが取れない相手という貴重な存在としていただき、ありがとうございます。日本語が結構使えても、わざと生徒の前では英語しかしゃべれないような姿を見せているところがすごいです。
- ・生徒が本物の英語に出会えて、モチベーションをあげられる。
- ・意欲の高まり。
- ・児童の英語に関する抵抗感が減る。
- ・英語を一生懸命聞こうと努力している。
- ・児童が積極的に活動に取り組もうとしている。
- ・児童の外国語への興味がでてきていて、楽しんで授業をしている。
- ・児童が英語を楽しむことができる。
- ・発音や英語の理解度が上がると思う。
- ・授業に特別感がでて、子どもたちが意欲的に活動できる効果が見られる。
- ・ALT の先生をきっかけに、出身の国に関心を持ち、調べ学習に発展する児童が見られた。
- ・外国の人と関わる経験ができ、自分の自信につながるのではないかと感じる。

## ○多文化共生の推進について(12人)

- ・児童が異文化に触れたり出会ったりすることができる。
- ・海外の価値観を知ることができる。
- ・異文化を知る機会になる。外国語が身近になる。
- ・異文化への共感的理解。
- ・異文化に親しむこと。
- ・生の英語を学習することで、その国の文化等を学ぶことができる。
- ・正しい発語や普段触れられない文化など触れることができる。
- ・子どもたちの異文化言語に興味関心を促すことができる。
- ・生徒が外国人と話す機会がもてる 生徒が異文化に興味をもてる。
- ・外国人(表現が正しくないかもしれないが)と接すること自体が、日本では国際理解につながると強く思う。
- ・色々な国籍の ALT の接することにより、視野が広がる。
- ・国際理解の充実。
- ・授業外でもコミュニケーションをとってくれるので、外国語に対しての抵抗がなくなっている。

### まとめ

### 「ALT 活用の現状について」からみてきたこと

○ALT との関わりにより、「児童生徒の技能の習得」「児童生徒のコミュニケーションへの意欲向上」「児童生徒の異文化への慣れ親しみ」「授業の充実」に 90%以上の教員が効果的であると回答しており、ALT 配置の効果が表れている。

○いずれの設問においても、前回調査よりも肯定的な回答の割合が増加している。小中学校教員は、児童生徒の成長について、ALT との関わりが大きく関与していることを実感してきていることがわかる。

○自由記述欄より、ALT が配置されることで、授業内容の充実、教職員の指導力・英語力向上、児童生徒の意欲向上、多文化共生の推進につながっていることがわかる。

## 4 海老名市外国語教育について

### (1) グランドデザイン

本市の児童生徒が、わがまち海老名で育ったことに自信と誇りを持ち、身近な人々はもちろん、世界の多種多様な人々との出会いを楽しみ、お互いを尊重しながら、協働して社会に参画していく姿を目指して、海老名市の外国語教育を推進する。

#### 【海老名市外国語教育がめざす児童生徒の将来の姿】

外国語で語り合い、世界の人々とのコミュニケーションを楽しむことができる「えびなっ子」

#### 【身に付ける資質・能力】

様々な人と自ら関わろうとする態度と豊かなコミュニケーション力

(どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか)

外国語の知識及び技能

(何を知っているか)

外国語で、理解し、表現する力

(知っていることをどう使うか)

えびなっ子が身に付ける資質・能力

中学校

1～3年生

外国語の基本的な知識を理解し、外国語を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことを通して日常や社会で活用できる表現を身に付け、目的・場面・状況に応じて世界の人々と自分の考えや気持ちを伝え合うことを楽しむことができる。

小学校 高学年

5～6年

外国語の基本的な知識を理解し、外国語を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことを通して日常で活用できる表現の基礎を身に付け、目的・場面・状況に応じて様々な人々と自分の考えや気持ちを伝え合うことを楽しむことができる。

小学校 中学年

3～4年

外国語を通して体験的に言語や文化を理解し、外国語を聞いたり話したりしながら基本的な表現に慣れ親しみ、身近な人と自分の考えや気持ちを伝え合うことを楽しむことができる。

小学校 低学年

1～2年

外国語を通して体験的に言語や文化に触れ、外国語を聞いたり話したりしながらコミュニケーションを楽しむことができる。

外国語

外国語活動



## 《様々な人と自ら関わろうとする態度と豊かなコミュニケーション力》

- 主体的に学習に取り組む態度を含めた、学びに向かう力や、お互いの良さを生かして協働する力、そして優しさや思いやりなどの感性を育てる。

## 《思考力・判断力・表現力の育成》

- 他者に対して、根拠をもとに自分の考えを明確に説明しながら、対話や議論を通じて、多様な相手の考えを理解したり、自分の考えを広げ、協働したりする力を培う。

## 《外国語を運用する力の基礎・基本の育成》

- 小学校と中学校における授業・学びを接続する。
- 外国語を使って「何ができるようになるか」という観点から具体的な目標を設定する。
- 外国語を通して、「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」という観点から将来の進路や職業と結び付け、主体的に取り組む態度を育成する。

## (2) 9年間で育てる子ども像・カリキュラム

### 9年間を通じて育てる子どもの姿（学習指導要領を基にしたCan-Doリスト）

|                | 1年生～2年生<br>【外国語活動】                     | 3年生～4年生<br>【外国語活動】                                                         | 5年生～6年生<br>【外国語】                                                                 | 中学校<br>【外国語】                                                                |
|----------------|----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 聞くこと           | 話し手がゆっくりはっきり話す、慣れ親しんだ言葉や表現を聞き取ろうとしている。 | ア ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。                          | ア ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。                | ア ゆっくりはっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。                          |
|                |                                        | イ ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。                          | イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。                    | イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようにする。                            |
|                |                                        | ウ 文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかが分かるようにする。                                   | ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。                     | ウ ゆっくりはっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。                         |
| 読むこと           |                                        |                                                                            | ア 活字で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。                                           | ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。                         |
|                |                                        |                                                                            | イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。                                          | イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。                            |
|                |                                        |                                                                            |                                                                                  | ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。                            |
| 話すこと<br>(やり取り) | 挨拶や、歌、チャンツ、ゲーム等を通して、友達と一緒に楽しもうとしている。   | ア 基本的な表現を用いて、挨拶、感謝、簡単な指示をしたり、それらに応じたりするようにする。                              | ア 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。                                     | ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。                                |
|                | 相づちやジェスチャーを用いて慣れ親しんだ表現でやり取りをしようとしている。  | イ 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。        | イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。             | イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。  |
|                |                                        | ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり質問に答えたりするようにする。 | ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問したり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。 | ウ 社会的な話題に関して聞いたこと、読んだことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて、述べ合うことができるようにする。 |
| 話すこと<br>(発表)   |                                        | ア 身の回りの物について、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。                        | ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。                            | ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。                                  |
|                |                                        | イ 自分のことについて、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。                         | イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。                      | イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。         |
|                |                                        | ウ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。 | ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。      | ウ 社会的な話題に関して聞いたこと、読んだことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。   |
| 書くこと           |                                        |                                                                            | ア 大文字、小文字を活字で書くことができるようにする。                                                      | ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。                                  |
|                |                                        |                                                                            | また、語順を意識しながら音声十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。                             |                                                                             |
|                |                                        |                                                                            | 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。             | イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。         |
|                |                                        |                                                                            |                                                                                  | ウ 社会的な話題に関して聞いたこと、読んだことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。   |

### (3) 具体的な取組

#### 1 外国語教育実施計画

| 令和4年度                                             | 令和5年度                                             | 令和6年度                                                                              | 令和7年度                     |
|---------------------------------------------------|---------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|
| 第3期計画の策定                                          | 第3期計画の実施及び成果と課題の検証                                |                                                                                    |                           |
|                                                   |                                                   |                                                                                    | 第4期計画策定<br>(令和8～10年度の3か年) |
| 【小学校の年間時数】<br>低学年：10 時間<br>中学年：35 時間<br>高学年：70 時間 | 【小学校の年間時数】<br>低学年：10 時間<br>中学年：35 時間<br>高学年：70 時間 |  |                           |
|                                                   |                                                   |                                                                                    |                           |

- ◇ 外国語教育推進協議会において、計画の策定・実施及び成果と課題の検証を積み重ね、学習指導要領や海老名市の教育のニーズに沿った計画を更新していけるように努める。

#### 2 研究実践

##### ① 海老名市外国語教育推進校

| 令和4年度                             | 令和5年度             | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-----------------------------------|-------------------|-------|-------|
| 海老名市外国語教育推進校として、<br>海老名中学校区における研究 | 「海老名市外国語教育推進校」を指定 |       |       |

- ◇ 毎年、1 中学校区（中学校 1 校、小学校 2 or 3 校）を推進校に指定し、外国語教育、授業の研究、授業の公開を依頼する。

##### ② 小学校英語専科担当教員による研究実践

| 令和4年度                        | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|------------------------------|-------|-------|-------|
| 小学校英語専科担当教員の研究と研究授業公開・協議会の実施 |       |       |       |

- ◇ ③指導体制において示す小学校英語専科担当教員による授業公開・協議会をとおして、市としての外国語教育の研究を進めていく。

##### ③ 中学校外国語教員による研究実践

| 令和4年度                      | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|----------------------------|-------|-------|-------|
| 中学校外国語科教員の研究と研究授業公開・協議会の実施 |       |       |       |

- ◇ 中学校外国語教員による授業公開・協議会をとおして、市としての外国語教育の研究を進めていく。

### 3 指導体制

#### ① 全小中学校にALTを派遣

| 令和4年度                                | 令和5年度                  | 令和6年度 | 令和7年度 |
|--------------------------------------|------------------------|-------|-------|
| 【派遣人数】<br>13名（小10, 中3）               | 【派遣人数】<br>13名（小10, 中3） |       |       |
| 【業務時間】 小学校 8:30～17:00 中学校 8:30～16:30 |                        |       |       |

◇ 令和5年度からの3年間、令和4年度同様のALTを配置する理由は次の3点。

- ② 外国語教育の目標は「コミュニケーション力の向上」であり、この目標に迫るためには学校の教育活動において、生きた本物のコミュニケーション場面を設定することが重要であり、ALTはその相手として必要不可欠であるから。
- ③ 外国人が共生社会の一員として今後の日本を形成する存在であることから、児童生徒が学校生活でALTと触れ合うことにより、児童生徒に異文化理解・多文化共生の考えが根付くようにするため。
- ④ 小中学校9年間をとおして、グランドデザインで示した子どもの姿を目指すためには、ALTをより一層活用した外国語・外国語活動の授業づくりや教育活動の展開に長けたネイティブスピーカーの存在が必須であるから。

◇ よりALTを有効に活用できるよう、教員向けの研修を充実させる。

◇ 教員との打ち合わせや、授業準備、放課後の子どもとの関わりなど、有効に活用し、外国語教育を充実させる。

#### ② 小学校に英語担当専科教員を配置

| 令和4年度         | 令和5年度                                | 令和6年度 | 令和7年度 |
|---------------|--------------------------------------|-------|-------|
| 市内4名<br>8校へ配置 | 継続の見通し<br>※文部科学省・県・市の調整によって配置人数が確定する |       |       |

◇ 外国語教育の専門性を持った教員によるきめ細かい教科指導と中学校の学びにつながる系統的な指導の充実を図る。

◇ 配置校等の調整は、市の配置人数が確定してから行う。



## 4 教員研修会・担当者会

### ① 指導主事等による教員への研修

| 令和4年度                           | 令和5年度                    | 令和6年度 | 令和7年度 |
|---------------------------------|--------------------------|-------|-------|
| 小学校外国語教育研修会<br>(指導主事等による研修動画視聴) | 外国語教育研修会<br>(指導主事等による研修) |       |       |

- ✧ A L Tの活用法、教科書の活用法、学習評価についてなど、授業をイメージした実践的な内容の研修を行う。
- ✧ 専科担当教員や神奈川大学と連携した小学校外国語教育の充実に向けた中核教員養成事業受講者の伝達の間も兼ねる。
- ✧ 市指導主事、小学校英語専科担当教員、A L T等で内容を検討し、実践的な研修を行う予定。

### ② ICT 機器を活用した教職員の授業準備支援

| 令和5年度                       | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-----------------------------|-------|-------|
| 授業実践、優れた教材・教具の収集<br>教職員への周知 |       |       |

- ✧ 授業実践動画や教材、教具の紹介を用いたコンテンツを活用した教職員の授業準備支援を行う。
- ✧ 優れた授業実践の共有について、A L T派遣委託業者と連携して行っていきたい。

### ③ 神奈川大学と連携した小学校外国語教育の充実に向けた中核教員養成事業

| 令和4年度        | 令和5年度                                | 令和6年度 | 令和7年度 |
|--------------|--------------------------------------|-------|-------|
| 市内より2名<br>派遣 | 継続の見通し<br>※文部科学省・県・市の調整によって派遣人数が確定する |       |       |

- ✧ 小学校教員外国語教育に係る専門的な知識を身に付けるとともに、中学校教諭二種免許状外国語（英語）を取得し、市内において指導的な役割を果たす外国語教育の中核となる人材の育成を図る。

### ④ 外国語教育担当者会議

| 令和4年度      | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|------------|-------|-------|-------|
| 外国語教育担当者会議 |       |       |       |

- ✧ 国や県、市の方針を確認し、取組状況について情報交換を行うとともに、授業力向上と授業改善を図る。

## 5 小・中学校の連携

| 令和 4 年度                   | 令和 5 年度                        | 令和 6 年度 | 令和 7 年度 |
|---------------------------|--------------------------------|---------|---------|
| 海老名中学校区における<br>授業公開・研究協議会 | 海老名市外国語教育推進校における<br>授業公開・研究協議会 |         |         |
| 同中学校区の他校種の学校へ授業参観         |                                |         |         |

- ◇ 同中学校区の他校種の授業を参観したり、担当者同士が協議会等で情報を共有したりしながら、それぞれの学校における外国語教育の充実を図っていく。

## 6 外国語でのコミュニケーション・体験活動の充実

### ① 「English Day」の開催

| 令和4年度            | 令和5年度                    | 令和6年度 | 令和7年度 |
|------------------|--------------------------|-------|-------|
| 全小学校で実施<br>【年1回】 | 小学校で実施【年1回】<br>☆学校が主導で実施 |       |       |

- ◇ 1つの学校に市内のALTを配置し、1日中英語に親しむ日をつくり、英語で会話をする機会を増やすことで、コミュニケーションへの興味・関心を高める
- ◇ 内容や形式は各学校の実態に合わせて計画、実施する。
- ◇ 実施方法については、ALT派遣委託業者と連携して行っていきたい。

### ② 海外の中学校とのオンライン交流

| 令和5年度   | 令和6年度   | 令和7年度 |
|---------|---------|-------|
| 1～2校で実施 | 6中学校で実施 |       |

- ◇ 中学校生徒が、オンラインでつないだ海外の学校の生徒と外国語で語り合い、交流することで、コミュニケーションの楽しさを体験する場を設ける。
- ◇ 実施方法については、ALT派遣委託業者と連携して行っていきたい。

### ③ 「スピーチコンテスト」への参加

| 令和4年度              | 令和5年度           | 令和6年度 | 令和7年度 |
|--------------------|-----------------|-------|-------|
| 小学校4年生以上の<br>児童に周知 | 小学校高学年中心に実施・見直し |       |       |

- ◇ 小学校高学年児童が、自分の伝えたいことを英語で発表することで、コミュニケーションの楽しさを体験する場を設ける。
- ◇ コンテストの実施方法について、ALT派遣委託業者と連携して行っていきたい。

## 7 全国学力・学習状況調査（中学校英語調査）の活用

| 令和5年度                                                                            | 令和6年度        | 令和7年度 |
|----------------------------------------------------------------------------------|--------------|-------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査の実施</li> <li>・結果の分析と小中学校へ周知</li> </ul> | 小中学校における授業改善 |       |

- ✧ 調査結果の分析を行い、全小中学校へ公表し、結果を説明する。
- ✧ 中学校の調査であるが、今後小学校からの積み重ねによる影響はさらに大きくなる。小学校、中学校ともに、調査の結果、出題の傾向から、課題を見出し、今後の授業に生かしていく。

## 8 市教委によるサポート

### ① 小学校1～2年生外国語活動LESSンプラン、年間計画

| 令和4年度           | 令和5年度                      | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-----------------|----------------------------|-------|-------|
| 前年度までのものを活用・見直し | LESSンプランの見直し・改善<br>全小学校へ周知 |       |       |

- ✧ 小学校の担任主導の外国語・外国語活動の授業をサポートしていく
- ✧ 外国語科については、採択した教科書会社の教師用指導書を活用し、指導にあたることができる。
- ✧ 特に小学1・2年生については、文部科学省からの教材もないため、海老名市として独自に作成したLESSンプラン・年間計画を活用しているため、見直し・改善が必要になる。
- ✧ LESSンプランの作成にあたっては、ALT派遣委託業者と連携して行っていきたい。